

病院事業会計決算

**2億2459万円の
単年度損失**

平成22年度は、総合病院と扇田病院の2病院を合わせた病院事業会計として、6年目を迎えました。

総合病院では、7対1看護基準の維持や新CTの導入、扇田病院では継続して夕やけ診療などを行い、病院機能の充実と医療サービスの向上に努めました。

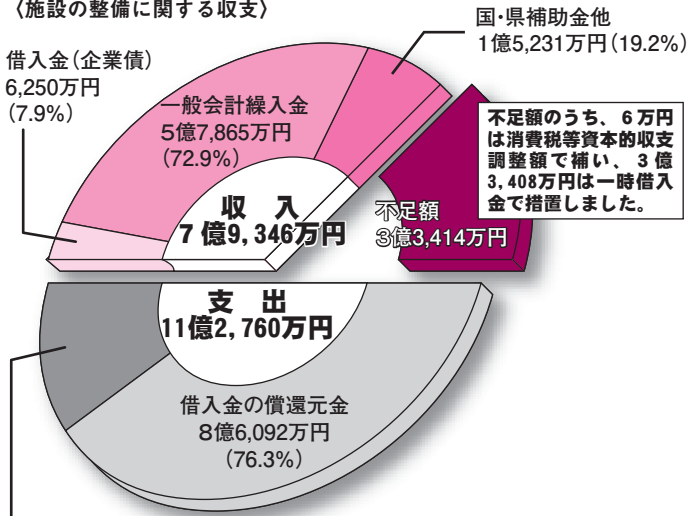
また、公立病院改革ガイドラインに基づいて策定した「病院改革プラン」の目標達成に向け、管理者を中心に経営健全化に取り組みました。

その結果、事業収益は、患者数や診療単価の伸びにより増加し、事業費用では、看護師の給与や医療の高度化に伴う材料費の増加があったものの、病院事業全体で対前年度比3億9299万円の改善となる、2億2459万円の単年度純損失となりました。

なお、22年度末時点の累積欠損金は、8億4217万円となりました。

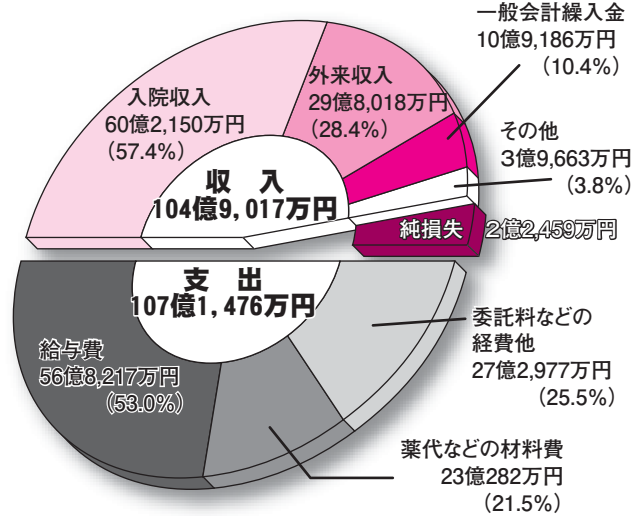
資本的収支(消費税込み)

(施設の整備に関する収支)



収益的収支(消費税抜き)

(事業の運営に関する収支)



施設の建設・改良に要する費用(医療機器整備・施設整備など)
2億6,668万円(23.7%)

平成22年度の業務実績

	総合病院	扇田病院
入院	入院患者数	151,268人
	1日平均患者数	414人
	診療単価	34,177円
外来	外来患者数	274,150人
	1日平均患者数	1,128人
	診療単価	9,624円
病床利用率	84.1%	97.6%

平成22年度の主な事業

- 〈施設設備整備事業〉
 - 院内保育所の整備(総合病院)
- 〈医療機器等整備事業〉
 - 64列CTを整備(総合病院)
 - 超音波手術機器などの整備(総合病院)
 - 消化管汎用ビデオスコープなどの整備(扇田病院)

平成22年度 大館市病院事業貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

